

よみがえれ、労働運動

第 5 回

関東ブロック

「眠れる豚」から、最強の獅子へ変身！

はじめに

今も「眠れる豚」と変わらない

4月号の中間総括では、「社会の主人公は労働者」と本当に思えるのか。

「何も変わらない」「特效薬はないのか」「むずかしくってわかんねえよ」という声を受け、労働者とは何か、『総評組織綱領草案』のもととなった三池の労働運動はどうだったのか、そこから学ぼうとなりました。そこで元書記長塚元敦義さんの書いた労大新書『労働者宣言』を読み合わせし討論しました。

**司会** 三池と言えば、安保反対と結合した総資本と総労働が熾烈にたたかった313日にわたる三池闘争ですね。

しかし、三池労組の戦後結成時は「眠れる豚」と言われていた。今と比較しても同じだと思いませんか、どうでしょうか。

**Kk** 今では正社員と非正規の格差がすごい時代だなというふうに思います。三池闘争以前も、囚人の労働であったり、与論島の人を連れてきて労働させたり、朝鮮の方の徴用強制労働であつ

たり、格差や差別が同じように三池にもあつたんだなって。私は、三池闘争というとてもみんな三池炭鉱という条件も問題も同じで、すごくしいたげられていたから、だから力を発揮しやすかつたのかなと思っていたけど、そうじゃなかった。今の時代もすごい格差だけど、三池も最初のころは、同じなんだなと思いました。

**Ks** それと今はグローバルだから24時間四六時中、支配されている。そういう仕事に携わっている人はやっぱり24時間仕事でしょう。携帯を持たされると、その携帯番号が海外の人

## ◆みんなの学習講座



三井三池闘争は生産点での闘いに始る  
(1959・8・16)

に知られたら夜中であろうが、休暇で休んでいても、病気であろうが何であるうが、向こうから、今知りたいたいと思つていたので電話をかけているというのよね。つまり会社に24時間支配されてるんですよ。

**Ok** 駅だって24時間支配されている。昔は、例えば前の晩、仕事終わつ

たら酒飲むこともできたじゃないですか。それは別に会社から賃金出ているわけじゃないし、翌日の朝から仕事までは何したって自由であつていい。でも、今は完全に支配されている。

**司会** 具体的にどういうことですか。完全に支配されているというのは。

**Tz** 数年前までは、鉄道の乗務員はある程度、拘束時間帯は、お金が出ていたというんですよ。今はもう、実ハドル時間しか会社は金を払わない傾向になってきていますからね。例えば以前は鬼怒川あたりで乗るまでに待ち時間が30分、40分あつたとすればお金もらっていますから、今はもらっていないんだもんね。乗務時間しか金は出ないんですよ。昔は拘束時間で寝る時間以外は賃金でいたんですよ。金は出すけど会社が支配しているんですよ。

**Sz** 検修の関係なんかは24時間ですよ。勤務がダブル勤務で、睡眠時間

を今まで4時間だったのが、5時間にして、1回泊まれば1時間の残業代が出たんですよ。それがいまは残業代もなくて仮眠時間を1時間延ばしましたということになった。泊まりは、会社は手当を出さないから、食事の補助もないから、飯食うのは自分持ちだ。飯の金も出ないんだ。そういうふうに今はなつちやつていんですよ。

**司会** 討論の中で今と実態は同じということですけど、そういう実態の中で三池は、英雄なき113日の闘い(脚注1)で、解雇を撤回させることができた。60年安保の闘いでも三池は、誘惑に負けなかったというんだ。皆さんには、そういう誘惑というのはなかつたんですか？

**Ta** 俺は、民間に5年いて自治体に入ったんですけど、誘惑はなかったけども、逆に上から目線で管理者から呼び捨てされた。「さん」とか「君」とか言わずに呼び捨てされて腹がたつた。

俺はそれには抵抗したね。一言位は「君」とか「さん」とか言ってくれてもいいんじゃないかと。そしたら、「おめえだ、おめえだ」というので、「おめえじゃない」と言った。  
**K s** 民間の職場で？

**T a** 役所だよ。

**T k** それはだれ？

**T a** その当時の部長だよ。課長から部長になった人だ。

**O k** 職場で、「さん付け」運動を執行委員会みたいなのに提案したんですか、それとも全く一人でやったということなの。仲間いたら、おかしいよねとなるでしょう。

**T a** 他の人にも呼び捨てなんですよ。皆は「性格なんだからよ、我慢すればいいんだよ」と言われたけどね。みんなやれば変わったかもしれない。やれなかった。三池でも職場の民主化闘争で「さん」づけ闘争をたたかったというのがありましたね。組織的にやる

というのは難しいということですよ。

### アメとムチの攻撃は資本の常とつ手段

**司会** 会社側はいろいろのアメをくれるんだけど負けずにやってきたのか。イヤガラセ・ムチですね。あと、学習会ですよね。学習会でどう乗り越えたのか。

**S u** 同期のMDさんが「技手補」試験を受けないと話合っていたにも拘わらずその人は、試験を受け、受かった。自分も1年後「技手補」試験を受けたけども、その時は青年部長をやっていたんだけど、主任から「お前よ、技手は受かっているからよ」と言われたんだよね。「良かったなあ」と思っただけけど、その後、何日か助役だったと思うけど、俺、落ちていると言われた。結局俺、青年部長していたから落とされたんじゃないかと思えるんだけども。アメとムチの使い分けだ。

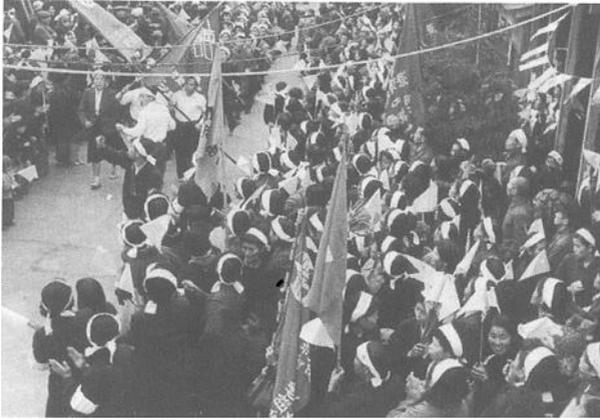
**K s** それはムチでしょう。昇格させないんだから。私なんか10年ごとにあの転勤とか、転籍とかあったわけでしょう。女性は30歳で、独身30歳になると、肩たたきの対象でさあ。やめない人間は転籍とか出向させて、自主退職に追い込むとかね。だから、働いていること事態がイヤガラセだよ。

辛いとは思いましたけどね。アメの昇給とか、ぶら下がっているからがんばれ、というのは無かったなあ。

**A r** 私も、扶養手当や健康保険証の交付が女性だからといって発行を渋る嫌がらせがありましたね。パソコン導入時も、私反対していましたから不安でした。賃金の振振は課長から嫌味を言われ、直接受け取ることを言い続けるのはたいへんでした。でも、まなぶ学習会で討論して言い続けています。アメは無くてもムチばかりということですかね。

**司会** まなぶ学習会で討論して振振よ

りも現金でもらったということですね。それでは三池は、眠れる豚から闘う組合へどう変化していくのでしょうか。



英雄なき113日のたかい  
三池炭婦協結成（1953・7・21）により強化された闘争力は「英雄なき113日のたかい」に始まる9月、三池鉱業所本館前で「家族ぐるみのたかい」として展開される。

### 63 スト（脚注2）と主婦会結成が

#### 三池を大きく変えた

**T a i l l 1952**（昭和27）年、会社の生産性向上運動ともいうべき、標準作業量の引き上げという実質賃下げ攻撃がかけられます。その中で、63日間ストをやるんですよ。2カ月間のストライキ。63日間、ストライキやるとスト資金が足りなくて生活できない、母ちゃんが怒るわけです。母ちゃんを目ざめさせなきや闘いが続かないなあ、つていうふうにも思うわけなんです。そして、家族が行商、土方や農業手伝いやアルバイトをやるんです。浪曲隊を組織して町を回るという創意、工夫もしたわけです。その経験をもとに、共同行動の中で連帯感が強まるのです。このストは中労委の斡旋で、①標準作業量は現行のまま、②一時金を5000円支給する、を炭労が受諾し、スト收拾を図りますが、この経験が大きか

った。たたかえばたたかただけのことがあるとかわかる。それには母ちゃんたちを会社が支配する家族会から脱退させて「主婦会」を社宅ごとに作るわけだよ。三池炭鉱労働組合と共に歩む主婦会の誕生です。すでに1949（昭和24）年には、職場分会に続き、社宅ごとに地域分会を作っていました。この地域分会と主婦会が連動し、労働運動、社会主義運動を闘う、そういう体制を作り始めるのですよ。

**司会**「眠れる豚」がストライキを打てた、「自分たちのストライキだ」と目覚めたわけですね。

**T a i l l** 最初は主婦も6割しか集まらなかったけど主婦会結成したわけです。これが大きかった。家族ぐるみの闘いが、次の英雄なき113日の闘いで勝利し、職場闘争が強化される。この力が職場の三権委議の職場ストライキへとつながる、分会長がストライキをすると言え、みんなでストライキに入

る。職制への「あっち向け闘争」の追いつき、追い越せの到達闘争に成長し、その後、43スト（脚注3）を闘ったんです。しかし資本と政府は、この三権移譲のたたかいは、山猫ストという違法なストだと言って譲らなかった。

この43ストは勝ち負けつかず、その後の活動家排除1200名指名解雇、つまり三池炭鉱の総資本対総労働の313日の闘いにつながるので。この三権移譲のたたかいを『組織綱領草案』で生かしたかったが生かせなかった。

**司会** 幹部闘争から大衆闘争への取り組みは、家族ぐるみで支える主婦会結成が大きく貢献したということですね。次は、幹部闘争から大衆闘争への中身ですが、どうでしょうか。

### 幹部闘争と大衆路線 同志愛

**My** 職場の要求をまとめて当局に一

人で文句を言うのは、勇気がいるよねでもそれじゃ幹部請負闘争だ。一人から二人、三人と仲間と一緒に文句を言いにいくというのが、大衆路線と言っていると思う。なかなかそうにはならないが。

**Kk** つい最近、うちの職場で挨拶会があったんです。その時に、私の職場は22人ですけども、その中の職制の6人と、あと中間の主事補みたいなの3人とあと若手の6人がね、挨拶会に行つて、私と7人だけが残されたわけですね。年寄りだとか英語ができないような人が残されたんですけど、自分は差別されていると思いました。だけど、ほかの人は、何も言わない。そこで、親しい人や挨拶会に行った人にも差別の話をして、「差別するのはおかしいね」となりました。こないだ個人面談の評価制度の面接があったんですね。その時に職制に「挨拶会があった時に何で黙って職制と9人だけを挨拶会に

出して私たちは残されたのか、あの時みんなすごく変な気持ちになりました。差別されているんじゃないかな、て、思いました」と言ったんですね。そして、あれは人事がどうのと、言い訳をいって、私の追及で職制は黙ってしまつたの。大衆路線というのかどうかわからないんですけど、自分の感じたこともほかの人との確認がないと、おかしいことはおかしいとは言えない。そういうのは実感として体験したんですね。

**司会** そういうことから、三池でいう同志愛が生まれるわけですね。  
**My** 私は組合を作った経緯がありません。1970年当時は、とにかく残業をやらなければ、まともな金、賃金じゃなかった。そこで組合を作ったのだけど、団交しても、会社は絶対ゆるらない。そういつた中で、怒りというか、不満というか、130名位組合員になった。1972年頃「まなぶ」が入つて、そこから学習会が始まった。俺な

◆ みんなの学習講座



1960年、三池労組本部に張り出された「闘いの柱」

んかは、労働者の生き方というか、資本主義のカス潰けとか、聞きなれない言葉を聞いて、新鮮に感じたんだ。合理化と組織攻撃が強くなり、学習会に集まった中で、仕事が終わって、5時に終わって、職場の中の、不満とか、

おかしい所とか、職制に何言われたとか、そういう話がその中で話されていたから、そういうことで、学習会で団結が強まった。同志愛かね。

**T a l l** 東京鋼鉄労組（脚注4）は日刊紙活動で団結を強めていった。

**M y** そういう活動もあったよ。闘いもあったからね。やったのは組合員が元気だった時は春闘の前段に、それぞれの家庭にオルグに入って話をしに行ったりしたりね。

**T a l l** 家庭オルグやったんだ。三池と同じだね。さすが東京鋼鉄だね。

**司会** 長い間の座談会おつかれさまでした。お互いいろいろ勉強になりました。次回は、三池闘争の総括、長期抵抗・統一路線とは何か。三池CO闘争の闘いの広まりについて討論したいと思います。

（脚注）

(1) 1953（昭和28）年、三井鉱山は経営合理化のために3464人に退

職を勧告し、それに従わない2700人を指名解雇した。三池炭鉱労働者は指名解雇に反対し、ストライキに突入した。ストライキは113日間に及び、ついに会社側は指名解雇を撤回した。この闘いは「英雄なき113日間の闘い」と呼ばれた。

(2) 1952（昭和27）年、標準作業量の引き上げという実質賃下げ攻撃に反対した63日間のスト

(3) 43スト 、「あつち向け闘争」の到達闘争の中から、各職場分会長に委嘱した交渉権、妥結権、ストライキ権の三権移譲をたたかった43日間のスト

(4) 東京鋼鉄工業賃上げ要求争議

会社の攻撃の中で組合の脱退者が続く中で1973年日刊ビラ『おはよう』を毎朝工場前前で始業前に出勤するすべての労働者に配布。職場要求と要求無視する会社の姿勢を約年伝えて来た。